

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年12月5日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明を申し上げます。

まず、1.、（1）第53回原子力規制委員会が明日12月6日午前中に開催されます。議題は4件ございます。

まず、議題の1「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の設置変更許可申請書（NSRR原子炉施設等の変更）に関する審査書等について」でございます。こちらは、JAEAの試験研究用原子炉でありますNSRRの設置変更許可の申請に関しまして、これまで審査会合において新規規制基準への適合性について審査を進めてきたところでございますが、今般、その結果を踏まえまして審査書案を取りまとめ、原子力委員会及び文部科学大臣に意見を聴くということにつきまして、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、議題の2「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行令の一部を改正する政令等の制定について」でございます。こちらの内容でございますが、今年春の法改正によりまして、放射線障害防止法に関しまして放射性同位元素等の廃棄の円滑化に資する特例の新設などの改正が行われたところでございます。その改正法の施行等のための施行令、その他の関係法令などにつきまして、10月26日から意見募集を行ってきたところでございます。今回はその意見募集の結果を踏まえまして、関係法令等の改正につきまして委員会の決定を求めるというものでございます。

続きまして、議題の3「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則等の一部改正（案）及びその意見募集について－特定重大事故等対処施設の構造及び強度－」という議題でございます。こちらの内容につきましては、特定重大事故等対処施設の構造及び強度に関しまして、これまでの工事計画に関する審査において得られた知見を反映するための規則の改正案を作成いたしましたので、これらについて意見募集を行うことにつきまして委員会にお諮りをするというものでございます。

最後、議題の4でございます。「経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）原子力規制活動委員会（CNRA）安全文化に関するワーキンググループ（WGSC）第1回会合の結果概

要について」という議題でございます。こちらは、先般11月28日～30日にかけてフランス・パリにおいて開催されました同会合、安全文化に関するワーキンググループでございますが、この会合に伴委員が出席をいたしましたところ、その結果の概要につきまして委員会に報告をするというものでございます。

続きまして、広報日程の2ページ目上段、12月8日金曜日の(2)第5回放射線審議会 眼の水晶体の放射線防護検討部会、この会議が午前中に開催される予定でございます。議題は5点でございます。

内容でございますが、まず、議題の1におきまして前回の同部会での議論の要点を確認した上で、議題の2及び議題の3におきまして、医療分野及び非破壊検査の分野におけます眼の水晶体の被ばくの現状などにつきまして外部有識者からヒアリングを行うという予定でございます。

続きまして、議題の4におきまして、このヒアリングを踏まえました論点整理を行い、その上で、議題の5におきまして、報告書の間取りまとめ、案ということになりますが、中間取りまとめにつきまして議論が行われるという予定になっております。

続きまして、同日の(3)第138回放射線審議会の総会、この会議が午後開催される予定となっております。議題は「放射線防護の基本的考え方について」とされる予定でございます。こちらにつきましては、前回の会合におきまして、基本的考え方の整理につきまして議論が行われたところでございますが、今回はその前回の議論を踏まえた修正案を用意いたしましたので、こちらについて議論が行われるという予定でございます。

私からの説明は以上でございます。

### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから御質問の方をお願いいたします。

それでは、ヨシノさんからお願いします。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

先週の金曜日にJAEAが、これはヒアリングですかね、常陽について、最大出力を10万キロワットにして審査を申請し直しますと言ったということで、規制側の要求の1つはこれでクリアされるのかなと思われるのですが、そうすると、今後の審査会合、今、留保中ですがけれども、具体的な日程の見通しというのは何か立っているのでしょうか。

○大熊総務課長 今、御質問がございました常陽の審査につきましては、御存じのとおり、今年の春であったかと思いますが、出力についての説明が適切ではないという指摘を行い、補正等の形で資料が用意されるまで審査は行わないという形で中断されていたところでございます。こちらにつきまして、原子力規制委員会としてはJAEAからの説明及び資料の提出というのを今待っているという状況でございます。その提出を受けて内容を検討して、審査を行っていくということになります。

質問に直接お答えすると、現時点ではその審査の具体的なスケジュールは、まだ提出のスケジュールも聞いておりませんので、審査についてのスケジュールは見ておりません。

○記者 あともう一点だけですが、明日の臨時の規制委員会の中部電力との意見交換といますか、これについては、何か決まっていることというか、ベースとなっているようなものがあれば教えてください。

○大熊総務課長 明日夕方の臨時会議で中部電力との意見交換、経営層との意見交換ということでございます。議題としては、こちらも御存じのとおり、また、御説明したとおり、同社の安全性の向上のための取組の状況ということでございます。想定している議題としては、安全性向上のための取組全般についての意見交換ということが予定されているという状況で、それと異なる何か具体的なものは現時点では予定されておりません。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—